



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月1日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 丸田 正行 TEL 03-6742-8550
四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	111,090	15.9	13,329	△13.9	12,940	△0.3	8,956	9.8
25年3月期第1四半期	95,867	0.2	15,481	△10.9	12,981	△23.0	8,159	△16.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 27,849百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △6,081百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	47.17	—
25年3月期第1四半期	42.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	795,234	461,579	58.0	2,429.13
25年3月期	771,032	437,909	56.7	2,304.42

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 461,234百万円 25年3月期 437,557百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	29.00	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	222,000	15.7	30,000	6.4	28,500	17.7	19,000	30.8	100.06
通期	460,000	14.3	70,000	31.5	67,500	31.4	42,000	△10.7	221.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・年間想定レート；1ドル=95円、1ユーロ=123円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	189,880,260株	25年3月期	189,880,260株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,312株	25年3月期	2,646株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	189,877,164株	25年3月期1Q	189,878,959株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）における医療市場を概観すれば、我が国において、規制改革と民間投資を促す「成長戦略」が6月に閣議決定され、医療関連産業の市場規模を現状の12兆円から2020年までに16兆円に拡大する目標が掲げられました。また、その具体的な施策として「日本版NIHの創設」、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）の体制強化」および「医療の国際展開」などが盛り込まれました。

このように医療市場においては、当社グループにとって強みを活かせる新たな成長機会が拡大しつつあります。

一方、当社グループにおいては、円安進行の追い風もあり、海外で売上が大幅に伸長しました。心臓血管領域事業では末梢動脈疾患治療用ステントのMisago「ミサゴ」が国内で順調に売上を伸ばすとともに、海外でもカテーテル事業が堅調に推移しました。また、血液システム事業も国内、海外ともに順調に売上を伸ばしました。一方、ホスピタル事業は前期の在宅事業譲渡の影響もあり、前期比では減収となりました。

当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、今期から4カ年の中期経営計画を推進しています。当第1四半期連結累計期間の主な取り組みは以下の通りです。

- 心臓血管領域事業では、ニューロ・ペリフェラル領域において血流改変ステントやオクルージョン・バルーンなどの新製品を欧州や日本で発売しました。また、4月に株式会社カネカと末梢血管用PTAバルーンカテーテルの共同開発契約を締結しました。今回の共同開発契約は、一つの製品にとどまらず、治療用途・部位に応じたPTAバルーンカテーテルの品揃えを包括する契約で、今後、両社で開発を行い、カネカ社が製造、当社がグローバルで販売いたします。また、6月には次世代型補助人工心臓システム「DuraHeart II」の早期製品化を目指し、米国ソラテック社と戦略的提携を結びました。この提携により、ソラテック社が今後の製品開発・生産、および欧州・米州での治験・販売を行い、当社が日本での治験・販売を行うこととなります。
- 血液システム事業では、5月から血液自動製剤システム「TACSI」1次遠心システムと「Reveos」の販売を欧州で開始しました。同製品は全血採血における製剤化プロセスを自動化するシステムで業務の効率化と製剤品質の均質化が期待されます。
- ホスピタル事業では、薬剤投与の安全性を高めるためにIT機能を搭載したスマートポンプの導入が日本で進んでいます。

当第1四半期連結累計期間の業績は次の通りです。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	95,867	111,090	15.9	2.8
売上総利益	51,692	56,990	10.3	△6.2
営業利益	15,481	13,329	△13.9	△36.0
経常利益	12,981	12,940	△0.3	—
四半期純利益	8,159	8,956	9.8	—

<売上高>

売上高は、前年同期比15.9%増の1,111億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
日 本	45,516	45,682	0.4	0.4
欧 州	17,729	22,886	29.1	3.3
米 州	20,492	26,460	29.1	5.0
アジア他	12,129	16,062	32.4	7.0
海 外 計	50,351	65,408	29.9	4.9
合 計	95,867	111,090	15.9	2.7

国内では、心臓血管領域事業や血液システム事業が順調に推移し、前年同期比0.4%増の457億円となりました。一方、海外ではカテーテル事業が堅調に推移するとともに、円安進行も追い風となり、海外売上高は前年同期比29.9%増の654億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、為替や高収益品へのシフトによるプラス要因はあったものの、米国デバイススタックスや在庫評価などの影響を受け、前年同期比10.3%増の570億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、円安による為替影響があったものの、一般管理費と研究開発費が増加したことなどにより、前年同期比13.9%減の133億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、円安進行を受けた為替差益の寄与があったものの、前年同期比0.3%減の129億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、前年同期比9.8%増の90億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	38,182	39,445	3.3	△1.1
	(国内)	31,233	30,701	△1.7	△1.7
	(海外)	6,948	8,743	25.8	1.5
心臓血管領域事業	売上高	41,056	50,125	22.1	4.3
	(国内)	11,707	12,106	3.4	3.4
	(海外)	29,349	38,018	29.5	4.6
血液システム事業	売上高	16,628	21,520	29.4	7.8
	(国内)	2,574	2,873	11.6	11.6
	(海外)	14,053	18,646	32.7	7.1

<ホスピタル事業>

国内では、ドラッグ&デバイス (D&D) 事業における受託ビジネスやDM事業が堅調に推移しましたが、前期の在宅事業譲渡の影響もあり、前期比では減収となりました。一方、海外では欧州、中国では現地通貨ベースで減収となりましたが、アジア、米州においては前期比増収となりました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前期比3.3%増の394億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、前期末に発売した末梢動脈疾患治療用ステントMisago「ミサゴ」が順調に売上を伸ばしました。海外では欧米を中心にカテーテル事業が堅調に推移しました。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は前期比22.1%増の501億円となりました。

<血液システム事業>

国内では成分採血が好調に推移し、前期比で増収となりました。海外では治療アフエーシスが引き続き堅調に推移しました。血液システム事業の売上高は前期比29.4%増の215億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ242億円増加して7,952億円となりました。

流動資産は為替影響を含む棚卸資産の増加等により、55億円増加して2,924億円となりました。

固定資産は成長投資及び為替影響等により、186億円増加して5,024億円となりました。有形固定資産は山口工場への投資等により44億円増加、無形固定資産は106億円増加、投資その他の資産は36億円増加となりました。

(負債)

負債の部は5億円増加して3,337億円となりました。

流動負債は夏季賞与支払いによる賞与引当金の減少等により、32億円減少して1,126億円となりました。

固定負債は為替影響による長期借入金の増加等により、37億円増加して2,210億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、237億円増加して4,616億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.3ポイント増加し、58.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

為替の動向や、医療機器市場を取り巻く環境変化など、今後も不透明な状況が続きますが、連結業績予想について変更はありません。

当社グループは、このような厳しい事業環境の中、目標を達成するため、医療経済性の向上に貢献できる高付加価値製品の導入、さらなる製造コストダウンへの取り組みや徹底した販管費の効率運用などに努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,201	79,584
受取手形及び売掛金	95,008	96,060
たな卸資産	85,179	89,985
繰延税金資産	11,258	9,351
その他	18,528	18,737
貸倒引当金	△1,220	△1,311
流動資産合計	286,955	292,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,966	48,644
機械装置及び運搬具(純額)	46,366	45,805
土地	21,827	21,910
リース資産(純額)	704	638
建設仮勘定	17,794	22,707
その他(純額)	9,165	9,506
有形固定資産合計	144,824	149,211
無形固定資産		
のれん	149,322	153,730
顧客関連資産	90,706	93,763
その他	56,604	59,712
無形固定資産合計	296,634	307,206
投資その他の資産		
投資有価証券	30,304	35,141
繰延税金資産	5,153	3,670
その他	6,852	7,126
投資その他の資産合計	42,311	45,938
固定資産合計	483,770	502,357
繰延資産		
繰延資産合計	306	467
資産合計	771,032	795,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,515	36,701
短期借入金	18,046	18,018
1年内返済予定の長期借入金	3,762	3,943
リース債務	277	255
未払法人税等	2,609	4,500
繰延税金負債	35	26
賞与引当金	4,834	2,520
役員賞与引当金	109	27
設備関係支払手形及び未払金	6,624	8,354
資産除去債務	420	72
その他	41,611	38,222
流動負債合計	115,844	112,643
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	78,712	80,092
リース債務	439	395
繰延税金負債	49,659	51,457
退職給付引当金	1,247	1,330
役員退職慰労引当金	198	66
資産除去債務	155	156
その他	6,865	7,511
固定負債合計	217,278	221,011
負債合計	333,122	333,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,103	52,103
利益剰余金	329,188	333,967
自己株式	△9	△12
株主資本合計	419,999	424,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,458	10,651
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	10,099	25,817
その他の包括利益累計額合計	17,557	36,460
少数株主持分	352	344
純資産合計	437,909	461,579
負債純資産合計	771,032	795,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	95,867	111,090
売上原価	44,175	54,099
売上総利益	51,692	56,990
販売費及び一般管理費	36,211	43,661
営業利益	15,481	13,329
営業外収益		
受取利息	64	82
受取配当金	56	56
受取ロイヤリティー	28	23
為替差益	—	577
持分法による投資利益	33	81
その他	331	144
営業外収益合計	514	966
営業外費用		
支払利息	263	368
売上割引	154	166
為替差損	2,410	—
たな卸資産処分損	0	43
その他	185	777
営業外費用合計	3,013	1,355
経常利益	12,981	12,940
特別利益		
固定資産売却益	0	6
事業譲渡益	—	262
補助金収入	875	—
特別利益合計	875	268
特別損失		
固定資産処分損	81	9
減損損失	—	557
役員退職慰労金	—	33
特別損失合計	81	600
税金等調整前四半期純利益	13,776	12,608
法人税、住民税及び事業税	3,991	2,370
法人税等調整額	1,609	1,266
法人税等合計	5,600	3,637
少数株主損益調整前四半期純利益	8,175	8,971
少数株主利益	16	15
四半期純利益	8,159	8,956

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,175	8,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,016	3,192
繰延ヘッジ損益	△1	△8
為替換算調整勘定	△13,237	15,694
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△14,256	18,877
四半期包括利益	△6,081	27,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,054	27,857
少数株主に係る四半期包括利益	△26	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,182	41,056	16,628	95,867	—	95,867
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	38,182	41,056	16,628	95,867	—	95,867
セグメント利益	5,959	6,859	287	13,106	2,374	15,481

(注) 1. セグメント利益の調整額2,374百万円には、たな卸資産の調整額1,300百万円、その他1,073百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管領域 事業	血液システム 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,445	50,125	21,520	111,090	—	111,090
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	39,445	50,125	21,520	111,090	—	111,090
セグメント利益	4,788	8,696	577	14,062	△733	13,329

(注) 1. セグメント利益の調整額△733百万円には、たな卸資産の調整額△257百万円、その他△476百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管領域事業」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては557百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。